

株式会社ツルハホールディングス

2020年5月期 第2四半期決算説明会 (2019.5.16～2020.5.15)

2019年12月17日

この資料に掲載しております当社の計画および業績の見通し・戦略などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。あくまでも将来の予測であり、市場における価格競争の激化・事業環境を取り巻く経済動向の変動・資本市場における相場的大幅な変動・上記以外の様々な不確定要素などの様々なリスクや不確定要素により、実際の業績と大きく異なる可能性がございますことを、予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

10月12日 112店舗休業
407店で営業時間短縮(閉店繰上げ)

10月13日 未復旧7店舗を除き営業再開

10月14日以降 復旧次第営業再開

12月6日～全店で営業再開 ※一部店舗は短縮営業

梁川店(福島県伊達市)
12月6日 営業再開



2020年5月期第2四半期 実績

(単位:百万円、%)

	2020年5月期第2四半期累計 (2019.5.16~2019.11.15)				
	実績	計画	計画比	前年同期 実績	前年比
売上高	416,466	411,700	101.2	382,947	108.8
売上総利益	119,614	117,600	101.7	108,305	110.4
(総利益率)	28.7	28.6	+0.1	28.3	+0.4
販売費・一般管理費	95,850	95,300	100.6	87,729	109.3
(販管費率)	23.0	23.1	△0.1	22.9	+0.1
営業利益	23,764	22,300	106.6	20,575	115.5
(営業利益率)	5.7	5.4	+0.3	5.4	+0.3
経常利益	24,440	23,050	106.0	21,405	114.2
(経常利益率)	5.9	5.6	+0.3	5.6	+0.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	15,554	13,760	113.0	12,940	120.2
(純利益率)	3.7	3.3	+0.4	3.4	+0.3

前期の実績には、B&Dグループの3カ月分(6/1-8/31)の実績を含みます。

当期(2020年5月期)

(単位:百万円、%)

	第1四半期			第2四半期		
	実績	構成比	前年比	実績	構成比	前年比
売上高	208,805	100.0	109.3	207,661	100.0	108.2
売上総利益	59,820	28.6	111.1	59,793	28.8	109.8
販売費・一般管理費	47,197	22.6	110.9	48,653	23.4	107.7
営業利益	12,623	6.1	111.8	11,140	5.4	120.0
経常利益	12,868	6.2	110.5	11,571	5.6	118.6
親会社株主に 帰属する当期純利益	8,727	4.2	120.8	6,827	3.3	119.4

前期(2019年5月期)

(単位:百万円、%)

	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	実績	構成比	前年比	実績	構成比	前年比	実績	構成比	前年比	実績	構成比	前年比
売上高	190,968	100.0	122.4	191,979	100.0	126.5	203,600	100.0	112.9	195,899	100.0	105.8
売上総利益	53,839	28.2	120.0	54,466	28.4	123.7	58,022	28.5	112.1	57,454	29.3	110.1
販売費・一般管理費	42,549	22.3	124.8	45,179	23.5	130.1	47,019	23.1	116.0	47,206	24.1	109.2
営業利益	11,289	5.9	105.0	9,286	4.8	99.9	11,003	5.4	98.0	10,247	5.2	114.4
経常利益	11,645	6.1	104.3	9,760	5.1	100.9	11,251	5.5	97.1	10,655	5.4	115.9
親会社株主に 帰属する当期純利益	7,222	3.8	103.4	5,718	3.0	94.4	6,507	3.2	94.9	5,376	2.7	109.8

※18-05期は杏林堂含まない
※B&Dを含まない

※18-05期は杏林堂含まない
※B&D3カ月分(6/1-8/31)を含む

※18-05期は杏林堂3ヵ月(10/16-1/15)
※B&D5.5カ月分を含む(9/1-2/15)

※18-05期は杏林堂4ヵ月(1/16-5/15)
※B&D3カ月分を含む(2/16-5/15)

当期(2020年5月期)

2020年5月期	第1四半期			第2四半期		
	実績	構成比	前年比	実績	構成比	前年比
売上高	201,571	100.0	105.6	200,499	100.0	108.5
売上総利益	57,898	28.7	107.5	57,820	28.8	109.6
販売費・一般管理費	45,360	22.5	106.6	46,773	23.3	107.8
営業利益	12,538	6.2	111.1	11,047	5.5	117.8
経常利益	12,760	6.3	109.6	11,487	5.7	116.7

(単位:百万円、%)

第2四半期累計		
実績	構成比	前年比
402,071	100.0	107.0
115,719	28.8	108.5
92,133	22.9	107.2
23,585	5.9	114.1
24,248	6.0	112.9

前期(2019年5月期)

※18-05期に杏林堂含まない

2019年5月期	第1四半期			第2四半期		
	実績	構成比	前年比	実績	構成比	前年比
売上高	190,968	100.0	122.4	184,741	100.0	121.7
売上総利益	53,839	28.2	120.0	52,768	28.6	119.8
販売費・一般管理費	42,549	22.3	124.8	43,390	23.5	124.9
営業利益	11,289	5.9	105.0	9,378	5.1	100.9
経常利益	11,645	6.1	104.3	9,840	5.3	101.7

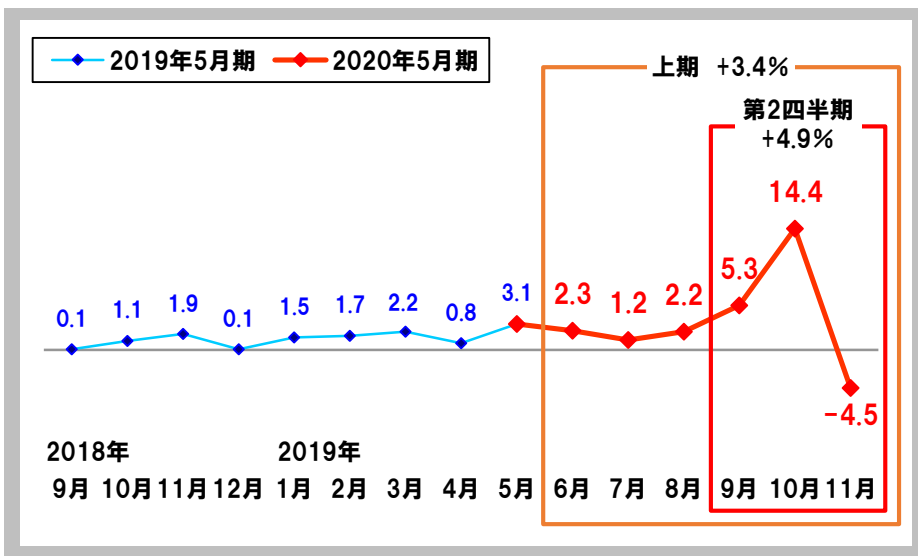
(単位:百万円、%)

第2四半期累計		
実績	構成比	前年比
375,709	100.0	122.0
106,607	28.4	119.9
85,939	22.9	124.9
20,667	5.5	103.1
21,485	5.7	103.1

売上高前年同期比・売上構成比

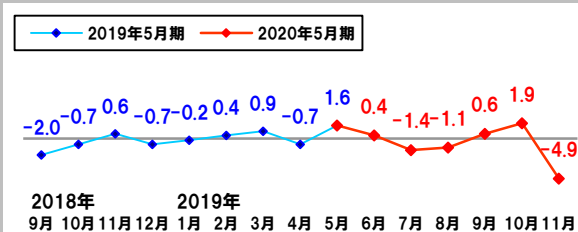
(単位:%) 月次売上高前年対比の推移(既存店)

	2020年5月期第2四半期累計		
	売上高前年同期比		地域別 売上構成比
	全店	既存店	
北海道	106.9	103.1	18.5
東北	106.4	103.0	20.2
関東甲信越	106.0	103.0	17.5
中部・関西	116.2	101.8	20.1
中国	108.5	105.5	14.9
四国	105.4	103.7	7.9
九州	147.3	119.5	0.9
合計	108.8	103.4	100.0



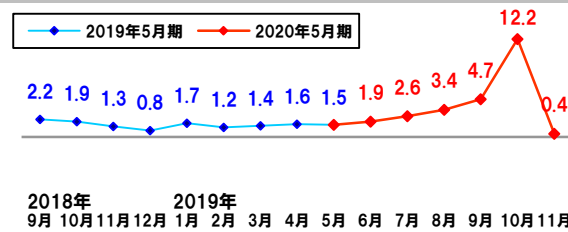
既存店客数前年比

上期実績 ▲0.8%



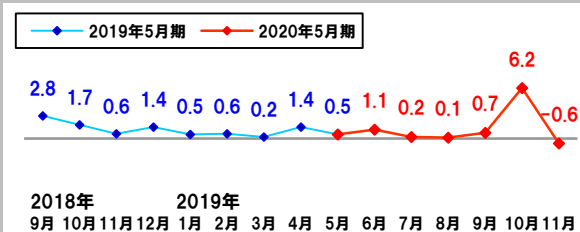
既存店客単価前年比

上期実績 +4.2%



既存店買上点数前年比

上期実績 +1.3%



※上記「既存店」の数値には、B&Dグループの実績を含んでおりません。

B&Dを含む業績

（単位：百万円、％）

		2020年5月期 第2四半期累計			
		売上高		売上総利益率	
			構成比		前年増減
商品 ※ 1	医薬品	91,038	21.9	41.5	△0.2
	うち 調剤	41,926	10.1	37.0	△0.4
	化粧品	71,145	17.1	33.0	+0.2
	日用雑貨	114,440	27.5	24.9	+0.6
	食品	94,427	22.7	16.1	+1.6
	その他	43,592	10.5	31.4	+0.9
	健康食品	15,210	3.7		
	医療用品・介護	17,451	4.2		
	育児用品	10,820	2.6		
	商品合計	414,644	99.6	28.6	+0.4
合計	416,466	100.0	28.7	+0.4	

前期第2四半期の実績には、B&Dグループの実績を含んでおりません。

※ 商品群別実績には通信販売を含みます。

B&Dを除く前年比較

（単位：百万円、％）

		2020年5月期 第2四半期累計				
		売上高			売上総利益率	
			前期比	構成比		前年増減
商品 ※1	医薬品	88,849	107.6	22.1	41.4	△0.3
	うち 調剤	40,698	113.2	10.1	36.8	△0.6
	化粧品	69,332	103.1	17.2	32.9	+0.1
	日用雑貨	110,054	109.4	27.4	24.9	+0.5
	食品	89,910	109.7	22.4	16.3	+1.6
	その他	42,201	101.4	10.5	31.2	+0.8
	健康食品	14,721	99.9	3.7		
	医療用品・介護	16,861	104.6	4.2		
	育児用品	10,507	96.6	2.6		
	商品合計	400,348	107.0	99.6	28.7	+0.4
合計	402,071	107.0	100.0	28.8	+0.4	

※ 商品群別実績には通信販売を含みます。

調剤部門実績

	連結			B & D除く		
	2019年5月期 第2四半期累計	2020年5月期 第2四半期累計		2019年5月期 第2四半期累計	2020年5月期 第2四半期累計	
		実績	前年比		実績	前年比
調剤報酬額（百万円）	36,430	41,926	115.1%	35,956	40,698	113.2%
総利益率（%）	37.4	37.0	△0.4	37.4	36.8	△0.6
処方箋枚数（千枚）	3,719	4,179	112.4%	3,643	3,988	109.5%
単価（円）	9,794	10,031	102.4%	9,868	10,205	103.4%
調剤店舗数	535	590	+24 (前期末比)	520	572	+22 (前期末比)

当四半期末調剤店舗数

	調剤店舗数			総店舗数	調剤店舗数 構成比(%)
	併設	専門	合計		
ツルハ	237	38	275	1,227	22.4
くすりの福太郎	39	58	97	225	43.1
ツルハグループドラッグ& ファーマシー西日本	69	18	87	285	30.5
レデイ薬局	26	24	50	226	22.1
杏林堂薬局	50	13	63	83	75.9
ビー・アンド・ディー	12	6	18	66	27.3
合計	433	157	590	2,112	27.9

(Eコマース除く)

2020年5月期
開局 26店
閉局 3店
子会社化による増
おおがたむら調剤薬局 1店

	2019年 5月期末	2020年5月期				
		開店	子会社化等	閉店	純増	期末
北海道	401	20	-	18	2	403
東北	482	15	1	4	12	494
関東甲信越	456	17	-	14	3	459
中部・関西	223	6	-	2	4	227
中国	299	4	-	4	0	299
四国	198	15	-	5	10	208
九州	23	-	-	-	0	23
国内計	2,082	77	1	47	31	2,113
(その他 FC店舗 3店舗)						
海外(タイ)	23	-	-	2	-2	21

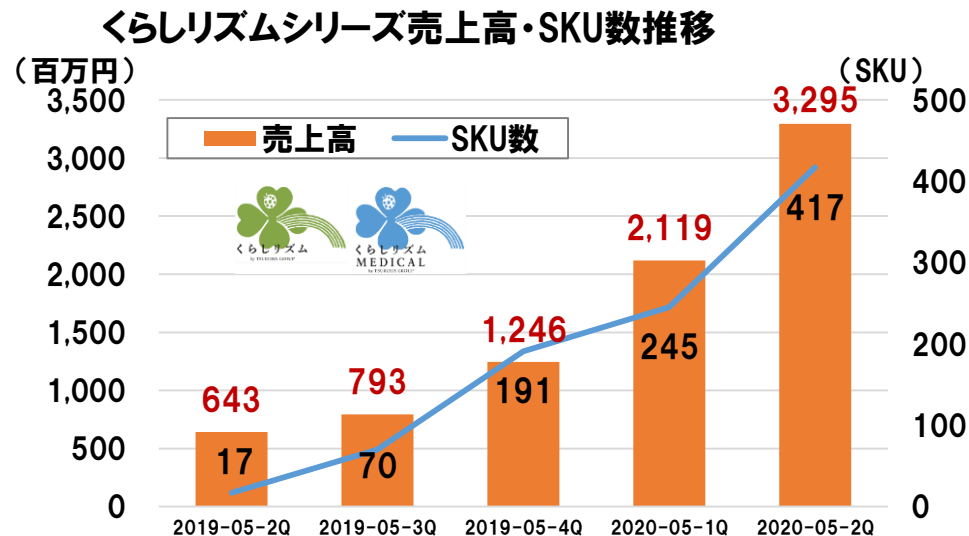
会社別内訳						
ツルハ	福太郎	西日本	レデイ	杏林堂	B&D	Eコマース
403	-	-	-	-	-	-
494	225	-	-	-	-	-
234	-	-	-	-	-	-
75	-	-	3	83	66	-
-	-	262	36	-	-	1
21	-	-	187	-	-	-
-	-	23	-	-	-	-
1,227	225	285	226	83	66	1

	2019年 5月期末	2020年5月期				
		開店	子会社化等	閉店	純増	期末
ツルハ	1,208	52	1	34	19	1,227
くすりの福太郎	223	7	-	5	2	225
ツルハグループドラッグ& ファーマシー西日本	286	3	-	4	△1	285
レデイ薬局	216	13	-	3	10	226
杏林堂薬局	81	2	-	-	2	83
ビー・アンド・ディー	67	-	-	1	△1	66
ツルハグループマーチャン ダイジング(Eコマース本部)	1	-	-	-	-	1
国内計	2,082	77	1	47	31	2,113
(その他 FC店舗 3店舗)						
海外(ツルハタイランド)	23	-	-	2	△2	21

当期の取り組みと今後の方針

「くらしリズム」の展開拡大

当第2四半期末 417SKU
→20年5月期末 500SKUへ
新ブランドの認知度向上
売上構成比拡大・粗利貢献



第2四半期累計 PB区分別実績・SKU数 (B&Dを含む)

	売上高(百万円)			売上構成比(%) ※対 調剤除く商品売上			売上総利益率(%) ※POS集計値		
	前期	当期	前年同期比	前期	当期	前年増減	前期	当期	前年増減
くらしリズム シリーズ	671	5,414	806.9	0.2	1.5	+1.3	27.5	45.7	+18.2
エムズワン・ メディスワン	15,204	11,713	77.0	4.4	3.1	△1.3	44.2	45.3	+1.1
専売品・ 企業限定品	11,294	11,353	100.5	3.3	3.0	△0.3	47.0	46.3	△0.7
合計	27,170	28,482	104.8	7.9	7.6	△0.3	45.0	45.8	+0.8

LSP(レイバースケジューリングプログラム)導入

1月度から(株)ツルハで運用開始

・店長のシフト作成時間削減

販売、従業員教育、店舗管理等
本来の業務時間を確保

・シフト作成状況の可視化

SV以上の管理者がシステムを通じて
各店のシフト状況を確認

→労働時間管理状況を可視化し
人員配置・従業員構成などの
各店舗の課題の解決を促進

化粧品の販売強化

BSVの活動

絞込店(強化店)の実績貢献
グループ各社への展開

重点品ビューティ商材への貢献

勉強会開催(化粧品教育部)

特定ブランドによる差別化

新商品による売上・利益確保



リサーチ
リンクルシューター



アルブラン 薬用
リンクルエッセンス

クワイエットアワー

感覚過敏の方への配慮

道内(札幌・函館)20店舗で試験実施
毎週土曜日9~10時の間、

- ・店内照明を暗くする
- ・店内BGMの停止 等



【クワイエットアワー】

感覚過敏の方は、通常の照明が極端にまぶしく感じたり、小さな物音が大音量に聞こえてしまうなどの症状により、お買物などの外出が困難に感じられる場合がある。このような方に配慮した環境づくりとして、イギリスなどでは一部の商業施設で特定の曜日・時間帯にクワイエットアワーの取り組みが行なわれている。

フードロス問題への取り組み

「3分の1ルール」の緩和

飲料・加工食品等の一部で実施
食品サプライチェーン全体のロス削減

【3分の1ルール】

食品メーカー・卸業者から小売店への納品の期限を「製造日から賞味期限までの3分の1以内」とする慣例。

排出CO₂削減の取り組み

照明設備の更新(LED化等)

J-クレジット制度への参加

認証済みクレジットの売却

【J-クレジット制度】

省エネルギー機器の導入や森林経営などの取組による、CO₂などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を国が認証する制度。

地域別出店計画(連結)

(単位:店、%)

	2019年5月期末	2020年5月期計画			
	店舗数	開店	閉店	純増	期末店舗数
北海道	401	21	18	3	404
東北	482	29	7	22	504
関東甲信越	456	34	12	22	478
中部・関西	223	18	3	15	238
中国	299	12	6	6	305
四国	198	15	5	10	208
九州	23	5	-	5	28
国内計	2,082	134	51	83	2,165

会社別出店計画(連結)

(単位:店、%)

	2019年 5月期末	2020年5月期計画			
		開店	閉店	純増	期末店舗数
ツルハ	1,208	85	38	47	1,255
くすりの福太郎	223	15	3	12	235
ツルハグループドラッグ& ファーマシー西日本	286	15	5	10	296
レデイ薬局	216	13	4	9	225
杏林堂薬局	81	3	1	2	83
ビー・アンド・ディー	67	3	-	3	70
ツルハグループマーチャン ダイジング(ECコマース本部)	1	-	-	0	1
国内計	2,082	134	51	83	2,165

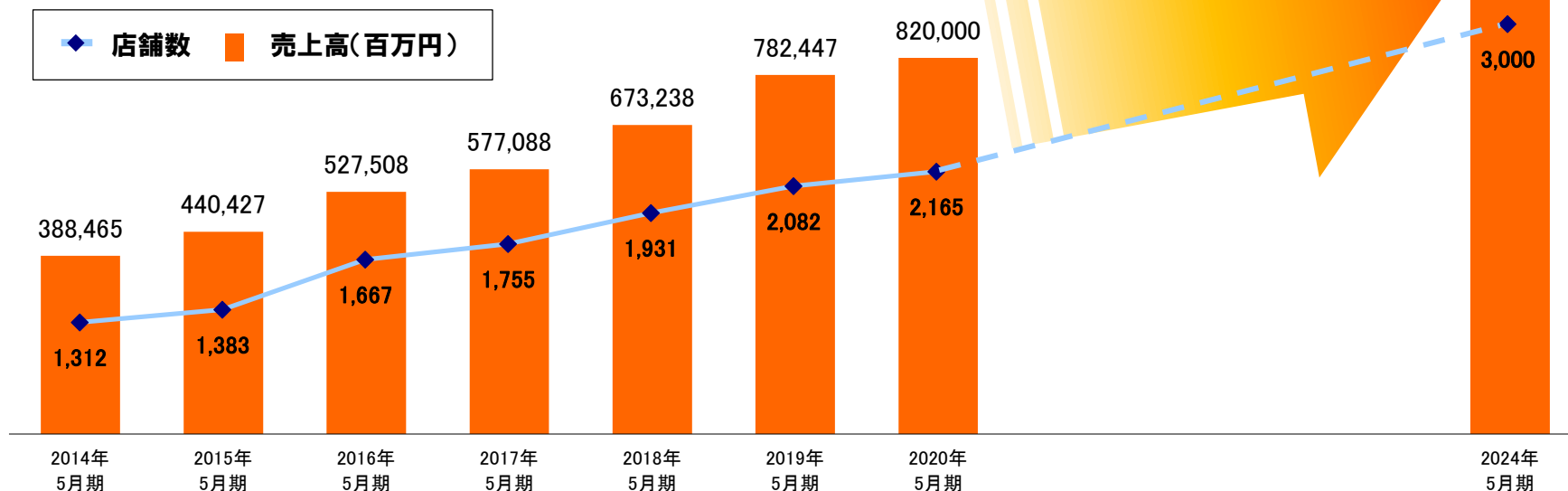
(単位:百万円、%)

	2019年5月期 実績	2020年5月期	
		通期計画	前期比
売上高	782,447	820,000	104.8
売上総利益	223,782	237,000	105.9
(総利益率)	28.6	28.9	+0.3
販売費・一般管理費	181,956	193,300	106.2
(販管费率)	23.3	23.6	+0.3
営業利益	41,826	43,700	104.5
(営業利益率)	5.3	5.3	0.0
経常利益	43,313	45,200	104.4
(経常利益率)	5.5	5.5	0.0
当期純利益	24,824	26,100	105.1
(純利益率)	3.2	3.2	0.0

2019年5月期・・・B&Dの業績は上期に3か月分、下期に8.5か月分計上

2024年5月期

店舗数 3,000店舗 売上高 1兆円



**専門性・利便性の
追求**

医薬品・化粧品を核とする
カウンセリング力強化
小商圏対応の店舗づくり

**ドミナントエリア戦略に
基づく出店**

既存グループの出店推進
M&Aによる店舗展開

**PB商品の展開拡大・
商品力向上**

高品質のPB商品の開発を
通じたブランド価値の向上

**グループの組織力と
収益力強化**

スケールメリットの拡大・
グループシナジーの最大化

くすり!と、暮らしに微笑みを。**ツルハグループ**

【IR問い合わせ】

株式会社ツルハホールディングス

IRグループ TEL 011-783-2755

〒065-0024 札幌市東区北24条東20丁目1-21

この資料に掲載しております当社の計画および業績の見通し、戦略などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。あくまでも将来の予測であり、下記に掲げております様々なリスクや不確定要素により、実際の業績と大きく異なる可能性がございますことを、予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

市場における価格競争の激化・事業環境を取り巻く経済動向の変動・資本市場における相場的大幅な変動・上記以外の様々な不確定要素